

取組テーマ	取組目標	具体的な活動内容	担当者	活動主体	取り組んだこと、その実績	1年を振り返って
生き物・みどり	植物の育成等を通して、子どもたちの自然を大切にする心を育てます。	1 一人一鉢、野菜の栽培(アサガオ・ミニトマトなど)	1・2年各担任 仲よし級担任	低学年 仲よし級	<p>(2年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一人一鉢ミニトマトを栽培した。 ●野菜の栽培は、ナス・ピーマン・トウモロコシ・はつか大根・ニンジン栽培した。 ●辻堂海浜公園と協力し、海浜公園や県立汐見台公園に花を植栽した。 ●神奈川県土木工務所の協力で、砂防林の成り立ちと、育苗場見学を行った。 <p>(仲よし級)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●夏野菜を一人一つのプランターに育てた。秋にかけてサツマイモを畑で育てた。秋から一人一つのプランターに大根の種をまき、育てた。 <p>(3・4年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ゴーヤ・ツルレイシを育て、観察を行った。 ●ハウセンカ・ヒマワリ・オクラ・ダイズを育て、観察をした。 	<p>【取組の評価】<input checked="" type="checkbox"/>達成できた <input type="checkbox"/>ほぼ達成した <input type="checkbox"/>達成できなかった</p> <p>【理由】</p> <p>児童が主体的・意欲的に様々な活動を行うことができた。また、地域の団体とともに活動を行えたことが、達成の理由である。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>海岸の傍という本校の立地条件をどのように生かせるか、長く続けられる活動をどのように行うかが課題である。</p> <p>【次年度への引継ぎ事項】</p> <p>地域の団体との関係は、続けていただきたい。</p> <p>(仲よし級)</p> <p>【取組の評価】<input type="checkbox"/>達成できた <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ達成した <input type="checkbox"/>達成できなかった</p> <p>【理由】</p> <p>年間を通して一人一鉢で野菜を育てることができたため。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>人数が増加傾向にあるため、プランターの大きさや置き場所を考える必要がある。</p> <p>(3・4年)</p> <p>【取組の評価】<input type="checkbox"/>達成できた <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ達成した <input type="checkbox"/>達成できなかった</p> <p>【理由】</p> <p>大豆(津久井在来・借金なし)を開墾して、育てた。ツルレイシの栽培が難しかったが、理科の学習の中で定期的に観察できた。水やりや草とりのお世話をした。今まで個人で育ててきたアサガオやミニトマトと違って、思うように生長しないものもあり、それも含めて理科のよい学習になった。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>大豆が思ったより収穫できたので、もう少し開墾して育てていきたい。ゴーヤは育て方、場所を検討し、種をとるところまで学習したい。夏休みの世話が難しいと感じた。</p> <p>【次年度への引継ぎ事項】</p> <p>今年度の取り組みを踏まえ、次年度の内容を計画していきたい。</p>
		2 ハウセンカ・ヒマワリ・オクラ・ダイズを育てる	3年各担任	3年生		
		3 ゴーヤ・ツルレイシを育てる。	4年各担任	4年生		

(様式1) 学校エコ活動シート

米作り	田んぼづくり、米づくりを通して、自然を大切に作る心や食べ物をつくる人への感謝の気持ちを育てる。	1	田んぼづくり	5年各担任 教育施設業務員 総合的な学習担当	5年生 全学年	1 田んぼづくり 土作りとして、屋上へ土入れし、土壌を作った。また、稲わらなどもいれ、土作りも子ども達で行うことができた。	【取組の評価】 <input type="checkbox"/> 達成できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 子ども達主体での作業には、時期の兼ね合いもあり、難しかった。3年振りの米作りで、ノウハウの蓄積も少なく、管理職の人脈や経験に頼り切ってしまった。
		2	田植え、田んぼの管理	5年各担任 教育施設業務員 総合的な学習担当	5年生 全学年	2 田植え、田んぼの管理 地域の方々、経験者の方から学び、田植えまでを一通り体験した。しかしながら、夏休み期間などのため、田んぼの管理までは子ども達では仕切れなかった。	【今後の課題】 米作りそのもののノウハウの蓄積が必須である。また、屋上の米作りを5年生の総合の時間として活用していくためには、1年軸の学習の見通しをたて、学習活動との結び付けをしていかないと、その場その場でも対応になり、学習に発展していきにくい。
		3	収穫、お米を調理し食べる	5年各担任 教育施設業務員 総合的な学習担当	5年生 全学年	3 収穫、お米を調理して食べる 収穫、脱穀等まで、地域の方々のご指導をいただいて、行うことができた。収穫量の兼ね合いもあったが、10月に全校の給食で食すことができ、とても美味しかった。	【次年度への引継ぎ事項】 本年度の行ったことや必要な物などを時系列で明示していきたい。
資源・廃棄物削減の取り組み	ごみの分別・リサイクル活動等を推進し、ごみの量を減らします。	1	ごみ箱に具体的なイラストを描き、ゴミの分別を図る。	1・2年各担任 4年各担任 仲よし各担任	低学年 4年生 仲よし	(低学年) ●入学当初から夏休み前までは、それぞれのごみ箱に掲示をした。分別の仕方については、給食を中心に、声掛けをしたり取組を促したりしているため、自然と分別をしようという意識が芽生えている。 ●図工や生活、算数などの教科を通して、廃材を利用した工作や活動を行った。プラスチックトレイなどを使って風で動くおもちゃを作ったり、空き箱を使ってさまざまな工作を行ったりした。	(低学年) 【取組の評価】 <input type="checkbox"/> 達成できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 毎日の生活の中で、躰のように身につけてきていることを評価した。低学年段階なので、その行動が何のために必要ななど、理由や動機付けに繋がるような働きかけや活動までに至らず、主体性があるかは疑問。
		2	廃材を利用した工作を行う。	1・2年各担任 3年各担任	1年生 3年生		【今後の課題】 身近な海の環境などと関連付けたいが造形を楽しむ段階に終わった。
		3	ビーチクリーンについて考える(実施する)	3年各担任	3年生		【次年度への引継ぎ事項】 無理なく取り組むことができる活動を今後も続けていきたい。
		4	道徳「ごみステーション」【勤労・公共の精神】を学習し、意識を高める。	3年各担任	3年生	(仲よし級) ●ごみ箱に「燃やすごみ」「プラスチック容器包装」の言葉とイラストを貼り付け、わかりやすくする。	(仲よし級) 【取組の評価】 <input type="checkbox"/> 達成できた <input type="checkbox"/> ほぼ達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 表示を見てもごみ箱の区別をつけることが難しかった児童もいたため。「プラ」を分別できない部分が多くあった。
					(4年) ●社会科のごみの学習の一つとして、環境事業センターの方に来ていただき、茅ヶ崎市で使われているパッカー車を真近で見学することができた。 社会科の街探検で美化財団の存在が身近であることを知ったり、道徳で身の回りの住みよい環境を整えることの大切さを改めて考えたりできた。1年を通して、環境整備等に関心をもつことができた。	【今後の課題】 文字もイラストも理解が難しい児童には声掛けをしていく。こまめな声掛けをして分別を意識させる。	
						(3・4年) 【取組の評価】 <input type="checkbox"/> 達成できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 社会科の街探検や道徳、総合と横断的な学習をすることができた。終末として、3月にビーチクリーンを行ったが、前向きに活動する児童の姿が見られた。	

(様式1) 学校エコ活動シート

							<p>【今後の課題】 ごみの学習をした後に、リサイクルやごみ削減を校内で呼びかける活動を行えばよかった。 今回の学習をぜひ次学年の社会科にもつなげたい。年間計画だけでなく、中学年としてのとらえがあっても良いかもしれない。 ビーチクリーンは天候や季節に左右されやすいため、柔軟な対応が必要である。 【次年度への引継ぎ事項】 今年度の取り組みを踏まえ、次年度の内容を計画していきたい。</p>
省エネルギーの推進	日常の学校生活の中で省エネルギー活動を実勢します。	1	使用していない照明を消す。	仲よし級各担任	仲よし教職員	●体育など教室移動の時は、児童も教職員も気が付いた人がすぐに照明を消す。	【取組の評価】 <input checked="" type="checkbox"/> 達成できた <input type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった
SDGs	できることから始めることで、SDGsへの関心を高め、未来の持続していける社会への意識付けをしていく	1	校内での節電・省エネ(担任による声かけ) 特別教室利用時は教室消灯、エアコンのこまめな管理・手洗い時の水道使用量の減少	5年各担任	5年生	1 担任から児童への声かけはもちろん、日直としての仕事に組み込むことなどを学年でも行い、節電や省エネの意識づけを行い、日々実行してきた。	【取組の評価】 <input checked="" type="checkbox"/> 達成できた <input type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 左記記載通り。子ども達も一人ひとりも心がけ、担任としても日々声かけ及び実践をしてきた。
		2	家庭科における、掃除やゴミ出しの工夫 ごみの分別・なるべくコンパクトにまとめる・使えるものの再利用・給食の残食を減らす	5年各担任	5年生	2 4年生で社会の学習をしているので、その延長としての取り組みを始め、市内ごみの有料化などもあり、身近なものとして取り組んできた。給食も残食を減らす努力を日々行っていた。	【今後の課題】 学校生活や学習との結び付けだけでなく、普段の生活(家庭において)でも、より身近に感じさせ、自分事として捉えて、生活をしていけるように学びをつなげていきたい。
		3	社会科において日本の産業を学び、消費活動を通し、最後まで使う責任を心掛ける生活をしていく	5年各担任	5年生	3 社会だけでなく家庭科においても、SDGSの学習の一環としてや消費活動での配慮すべきことなど身近に感じさせながらの学習をしてきた。	【次年度への引継ぎ事項】 引き続き、学習活動で実践をしていって欲しい。
海の豊かさを守ろう	海のごみを減らすために私たちにできることを考え実践する	1	身近な海のごみ問題について知り、ビーチクリーン活動を行う	2年各担任	2年生	●神奈川美化財団による、マイクロプラスチックについて出前授業を行ってもらった。実際にビーチクリーンをおこなった。	【取組の評価】 <input checked="" type="checkbox"/> 達成できた <input type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 児童が主体的・意欲的に様々な活動を行うことができた。 また、地域の団体とともに活動を行えたことが、達成の理由である。
		2	定期的なビーチクリーン活動	6年各担任	6年生 教職員		【今後の課題】 海岸の傍という本校の立地条件をどのように生かせるか、長く続けられる活動をどのように行うかが課題である。 【次年度への引継ぎ事項】 地域の団体との関係は、続けていただきたい。
海の豊かさを守ろう	海のごみを減らすために私たちにできることを考え実践する	3	ビーチクリーン活動を通して分かったことをポスターなどにまとめる	6年各担任	6年生		【取組の評価】 <input type="checkbox"/> 達成できた <input type="checkbox"/> ほぼ達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】時間の確保ができなかったため。
		4	地域規模で私たちにできることを考える	6年各担任	6年生 教職員		

(様式1) 学校エコ活動シート

●写真等の記録:活動や発表の風景等取組の記録を、必要に応じて添付してください。写真等の下に、キャプションをご記入ください。個人情報の取り扱いにご注意ください。

●学校長(推進責任者)によるコメント

【学校長名】

大越 敏孝

今年度はコロナ禍でできなかったことがほぼできるようになってきた。米作りや緑化活動など、学校内外の環境を利用した活動も行うことができた。地域との連携の中で休日に行われたビーチクリーンには、多くの児童が参加した。学校の教育活動と地域のエコ活動が相互により影響を与えているようにも感じる1年であった。再開した活動の中では、今後の検討や改善が必要なものもあり、よりよい方向に向けて取り組めるよう計画していきたい。

【今後の方向性について】

- ・稲作についての今年度の体験を踏まえて、さらにSDGsに関わる学習へ広げていきたい。
- ・身近な地域の学習を通して、エコ活動を当たり前のこととして推進していきたい。
- ・地域の豊かな資源を活用して、学習へ繋げていきたい。